

# 後藤純男

1930年真言宗住職を父として、千葉県関宿町に生れる。  
 1943年豊山中学校2年より、真言宗僧侶の修行を始める。  
 1946年山本丘人に師事する。  
 1949年丘人の紹介によって、田中青坪に師事する。  
 1952年日本美術院展に初入選する。5年間の教員生活を終える。  
 1954年日本美術院展に入選、院友に推挙される。  
 1965年日本美術院賞、大観賞。特待に推挙される。  
 1966年東京都買上げ。無鑑査。  
 1968年白寿賞、G賞を受賞。  
 1974年日本美術院賞。同人に推挙される。  
 1979年中国及び韓国に取材旅行。その後、度々訪中する。  
 1986年中国・西安美术学院名誉教授。  
 1988年東京芸術大学教授。  
 1997年後藤純男美術館開館。  
 2006年旭日小綬章を受ける。  
 2016年東京芸術大学名誉教授。日本芸術院賞、恩賜賞。  
 10月18日永眠。



緑映金閣寺 画寸 52.5x717



大和錦秋

画寸 24x33



銀閣雪景 画寸 33x45



金閣寺 鹿苑寺庭園 画寸 53x71



春の斑鳩 画寸 33x46



秋の塔映 画寸 44x65



奈良の秋

画寸 16x23



富士 画寸 20x41



奈良の秋

画寸 16x23



揚子江 画寸 28x41

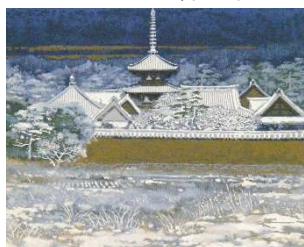


新緑塔映 画寸 24x33 塔映花 画寸 53x53



秋「塔映四季」

画寸 32x41



冬「塔映四季」画寸 32x41



富士に桜花 画寸 29x41



春「塔映四季」画寸 32x41



夏

「塔映四季」

画寸 32x41



夕の塔

画寸 16x12



清朝の富士 画寸 45.5x60.5

気が付きましたら、後藤純男先生の本画が売り切れていました。早急に、優れた作品を入れるように、努力します。